

三輪の麻糸

楠山正雄

青空文庫

むかし神代かみやのころに、おおくにぬしのみこと大國主命さきみたまの幸魂くしみたま、奇魂くしみたまの
 神さまとして、この国くにへ渡わたつておいでになつた大物主命おおものぬしのみことは、
のち後に大和国やまとのくにの三輪みわの山におまつられになりました。さて、その
 山みわやまを三輪山みわやまというについて、こつういふお話はなしが伝わつたっています。
 ある時とき大和国やまとのくにに、活玉依姫いくたまよりひめといふ大たいそつう美うつくしいお姫ひめさま
 がありました。

この活玉依姫いくたまよりひめの所ところへ、ふとしたことから、毎まい晩ばんのよう
 大たいそつう気け高たかいりつぱな若わか者ものが、いつどこから来くるともなくたず

ねて来きました。そのうちに、とうとう若わかもの者は、お姫ひめさまのお婿むこさんになりました。

間まもなくお姫ひめさまには子供こどもが生まうまれそうになりました。ところで、そのお婿むこさんははじめから、夜よるおそく来きては、夜よの明あけないうちに、いつ帰かえるともなく帰かえつてしまうので、お姫ひめさまのほかに、だれもその顔かおを見知みしつたものもありませんし、どこのだれだということはお姫ひめさますら知しりませんでした。

二

お姫ひめさまのおとうさまとおかあさまは、ふしぎに思おもつて、どう

かしてそのお婿むこさんの正しょうたい体みとどを見届みとどけたいと思おもいました。そこである日お姫ひめさまに向むかつて、

「今夜こんやお婿むこさんの来くる前まえに、部へ屋やにいつぱい赤あかつち土ちをまいてお置おき。それから麻あさいと糸いとを針はりにとおしておいて、お婿むこさんの帰かえるとき、そつと着物きもののすそにさしてお置おき。」

といいつけました。

お姫ひめさまはその晚ばんいっつけられたとおり、大きな麻あさいと糸いとの玉たまをお婿むこさんの着物きもののすそに縫ぬいつけておきました。

あくる朝あさ見みると、麻あさいと糸いとの先さきは針はりがついたまま戸との鍵かぎ穴あなを抜ぬけて、外そとへ出でていました。そして麻あさいと糸いとが引ひかれるにつれて、糸いと巻まはくるくるとほぐれて、もう部へ屋やの中なかにはたつた三みまわり、

輪わになつただけしか、糸いとは残のこつていませんでした。

お婿むこさんが戸との鍵かぎ穴あなから出て行つたことが、これで分わかりましたから、お姫ひめさまはその糸いとをたぐりたぐり、どこまでもずんずん行つてみますと、糸いとはおしまいいとに三輪山みわやまのお社やしろの中はに入はいつて、そこで止とまつておりました。

それではじめてお婿むこさんが大物おおものぬし主命のみことでいらつしやつたことが分わかりました。そして糸いとが三輪山みわやまあとに残のこつていたので、その山やまをも三輪山みわやまと呼よぶようになりました。

青空文庫情報

底本：「日本の諸国物語」講談社学術文庫、講談社

1983（昭和58）年4月10日第1刷発行

入力：鈴木厚司

校正：大久保ゆう

2003年9月29日作成

青空文庫作成ファイル：

このファイルは、インターネットの図書館、青空文庫 (<http://www.w.aozora.gr.jp/>) で作られました。入力、校正、制作にあたったのは、ボランティアの皆さんです。

三輪の麻糸

楠山正雄

2020年 7月13日 初版

奥付

発行 青空文庫

URL <http://www.aozora.gr.jp/>

E-Mail info@aozora.gr.jp

作成 青空ヘルパー 赤鬼@BFSU

URL <http://aozora.xisang.top/>

BiliBili <https://space.bilibili.com/10060483>

Special Thanks

青空文庫 威沙

青空文庫を全デバイスで楽しめる青空ヘルパー <http://aohelp.club/>
※この本の作成には文庫本作成ツール『威沙』を使用しています。
<http://tokimi.sylphid.jp/>